



30年後に想いをさせて タイムカプセル埋設

3月26日、新市誕生を記念して長門青年会議所が主催したタイムカプセル式典が日置の千疊敷で行われ、約100人が参加しました。式典では、松永功理事長が「カプセルに入れた人の30年後の感動につなげてほしい」とあいさつし、タイムカプセルの名称「思い出ポケット」を命名した古川諒さん（深川小学校4年）に表彰状が贈られました。直径15メートルのカプセルには「未来はきっとこうなる」をテーマに市内の小中学校の生徒が書いた作文や習字のほか、一般から応募のあった収納品など44点が納められ、30年後の2035年に開封されます。



ウィンドパークに新しい風 日置風力発電所竣工式

4月21日、日置の千疊敷で日置風力発電所竣工式が行われました。中国電力グループが新エネルギー利用拡大の一環として日置風力発電所の再開発を進めてきたもので、従来2基あった発電設備を撤去し、新たに国内最大級の1基が建設されました。プロペラの直径は70m、塔の高さは65mで、発電量は1基で1、950kWと従来の2基407・5kWに比べ大きくなり、年間発電量約450万kWh、設備利用率25%以上を目指し、風力エネルギーの有効活用利用されます。



新長門市のうたをつくる 350人が公開録音

新長門市誕生にあわせて進められてきた「新長門市のうたを作るプロジェクト」の公開録音が、3月27日ラポールゆやで行われました。当日は、作曲を担当した宇部市出身のシンガーソングライター・陣内大蔵さんも来場し、市民350人と一緒に完成した歌「あらたなる風よ」を熱唱しました。この日収録した歌はCDとして2千枚製作され、無料配布されます。



油谷こども ミュージカル結団式

4月9日、「油谷こどもミュージカル結団式」がラポールゆやで行われました。脚本・演出を手がける下関市民ミュージカルの会代表・伊藤寿真さんが「今回で4作品目となるが、今日がゼロからの再スタート。いい舞台にしたい」とあいさつ。総勢31人の出演者も「楽しいミュージカルにしたい」と熱意を込めていました。公演は12月4日（日）ラポールゆやで開催予定です。



元気で戻ってきてね 三隅川に鮎を放流

4月9日、三隅地区環境パートナーシップ会議が主催する鮎の放流が三隅河川公園で行われ、三隅保育園の園児や保護者など約80人が参加しました。園児たちは「迷わずに戻ってきてね」と声をかけながら、6〜7cmに育った約1万匹の稚鮎を放流しました。また、21日には深川川でも鮎の放流が行われ、深川小学校の4年生103人と向陽小学校の4〜6年生45人も慣れない手つきで鮎を放っていました。



4月9日、三隅河川公園での放流の様子